

54

津和野町 日原歴史民俗資料館

優待
内容

団体料金扱い

No Image

地元の民俗学者大庭良美が採話とともに民具を中心に収集。紙製の着物をはじめ生活用具・暖房器具・長浜人形・石見神楽面・森鷗外との親書・日本初の産業組合を作った大庭政世の遺書なども展示してある。

〔住所〕 鹿足郡津和野町枕瀬 218-1
 〔TEL〕 0856-74-0933
 〔開館時間〕 9:00～16:30
 〔休館日〕 月曜日～金曜日・12月1日～3月末

日原歴史民俗資料館
 公式 Web サイトは
 こちらをクリック

55

桑原史成写真美術館

優待
内容

団体料金扱い



日夜変貌をとげている国内外のさまざまな出来事を、写真を通じて身近に紹介する場として設置されました。その趣旨にそって、写真は、一瞬の出来事から忘れてはならない歴史の痕跡までを忠実に記録している報道写真という分野を、本町出身で、報道写真家として第1線で活躍されています桑原史成氏の写真を中心に展示しています。私たちの記憶の奥に埋没している歴史の一コマコマを、来館者の皆様が、展示写真からその記憶を再現していただけたらと思います。

〔住所〕 鹿足郡津和野町後田171
 〔TEL〕 0856-72-3171
 〔開館時間〕 9:00～17:00（最終受付 16:45）
 〔休館日〕 4月、7月、10月、1月の第3木曜日

桑原史成写真美術館
 公式 Web サイトは
 こちらをクリック

56

津和野町立
安野光雅美術館優待
内容

団体料金扱い



絵本、風景画、歴史画、エッセー、装丁など幅広い創作活動を行う画家安野光雅の多彩な世界を展示しています。館内にはプラネタリウムもあります。

〔住所〕 鹿足郡津和野町後田イ 60-1
 〔TEL〕 0856-72-4155
 〔開館時間〕 9:00～17:00（最終受付 16:45）
 〔休館日〕 木曜日（祝日を除く）・年末（12月29日～31日）

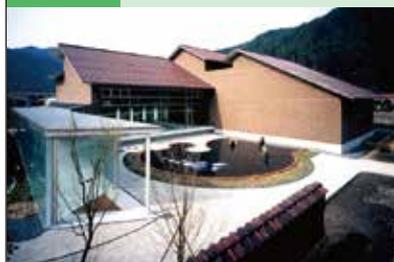
安野光雅美術館
 公式 Web サイトは
 こちらをクリック

57

森鷗外記念館

優待
内容

団体料金扱い（大人 600円→500円
 中高生 400円→250円
 小学生 250円→120円）



明治の文豪であり軍医でもあった森鷗外の生涯を映像や直筆資料等により紹介しています。記念館の隣には、鷗外が生まれ10才までをすごした旧宅（国の指定史跡）があります。

〔住所〕 鹿足郡津和野町町田1238
 〔TEL〕 0856-72-3210
 〔開館時間〕 9:00～17:00（最終受付 16:45）
 〔休館日〕 月曜日（祝日の場合は翌日）・年末（12月29日～31日）

森鷗外記念館
 公式 Web サイトは
 こちらをクリック

58

津和野町郷土館

優待
内容団体料金扱い（大人 400 円→300 円、
中高生 300 円→180 円、
小学生 150 円→ 80 円）

遠く縄文時代から現代に重なる豊富な郷土の歴史資料、文化遺産を永く後世に保存・継承するために、大正 10 年、当時としては、県内唯一の郷土歴史博物館として設立されました。吉見・坂崎・亀井の三氏にわたる津和野藩政の歴史を今に伝える豊富な資料に加え、人材育成の源泉となった藩校「養老館」に関する資料、西周をはじめとする多くの先哲の遺品、乙女峠のキリシタン殉教関係文料、当地ゆかりの文化人・芸術家の作品、更には縄文期からの考古資料など、島根県指定文化財を含むこの地方の豊かな歴史・文化遺産数千点を収蔵・展示し、郷土文化の伝承とその顕彰に努めています。

〔住所〕 鹿足郡津和野町森村0127
 〔TEL〕 0856-72-0300
 〔開館時間〕 8:30～17:00
 〔休館日〕 火曜日・年末年始（12月30日～1月4日）

津和野町郷土館
公式 Web サイトは
こちらをクリック

59

杜塾美術館

優待
内容

入館料無料



津和野藩の筆頭庄屋屋敷を往時のままに修復した、日本家屋の木のぬくもりと、陰影に富む空間の美術館です。黒光りする柱や梁は荘重な雰囲気醸し、常設展示されている津和野出身の洋画家中尾彰と摩耶夫人の色彩豊かな作品との織りなす調和をお楽しみいただけます。またスペインゴヤの版画「闘牛技シリーズ」も展示されており、2階には雨戸の節穴から差し込む光に庭園が逆さまに映る針穴写真が見られます。

〔住所〕 鹿足郡津和野町森村1542
 〔TEL〕 0856-72-3200
 〔開館時間〕 3月～11月 9:00～17:00、12月～2月 9:30～16:30
 〔休館日〕 月曜日～木曜日（祝日除く）・年末年始

杜塾美術館
公式 Web サイトは
こちらをクリック

60

津和野町 日本遺産センター

優待
内容津和野ミニ百景図パンフレットと
百景図絵葉書 1 枚を差し上げます。
※イベントに参加された方などに
限定的に配布しているパンフレットです。

ノスタルジックな街並みが印象的な津和野町。郷愁を誘うこの風景の原点は、幕末の風景画集「津和野百景図」にあります。約150年前の津和野藩政時代の景色の多くが残り、歴史のつながりや時の移ろいを感じさせます。日本遺産認定ストーリー「津和野今昔～百景図を歩く～」の魅力をパネルや動画、衣装などの展示物、コンシェルジュの解説などで体感していただけます。同じく日本遺産となった石見神楽の衣装などの展示も行っています。

〔住所〕 鹿足郡津和野町後田口 253
 〔TEL〕 0856-72-1901
 〔開館時間〕 9:00～17:00
 〔休館日〕 月曜日（祝日の場合は翌日）・1月1日、2日、3日

津和野町日本遺産センター
公式 Web サイトは
こちらをクリック